

2025年10月期第3四半期 決算補足説明資料

株式会社CAICA DIGITAL(2315)

2025年9月12日

2025年10月期第3四半期の主なトピックス

1. 株式会社ネクスの子会社化について

P12

併せて別途、ネクス子会社化のシナジーについて開示しましたのでご覧ください。

「CAICA DIGITAL、ネクスと共にWeb3型IoT統合ソリューション構想に向けた戦略的PoCを開始
～DID×MQTTによる次世代M2M/MECプラットフォームの構築に向けた実証がスタート～」

2. 通期業績見通しの修正について

P17

01	概要	05
02	2025年10月期 第3四半期決算	15
03	2025年10月期 通期業績見通し	27
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	42
06	Appendix	57

01

概要

05

02

2025年10月期 第3四半期決算

15

03

2025年10月期 通期業績見通し

27

04

中期経営計画の進捗状況

34

05

トピックス

42

06

Appendix

57

商号	株式会社CAICA DIGITAL
事業内容	グループ会社の管理運営
設立	1989年7月14日
所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 山口 健治
資本金	50百万円
連結売上高	5,606百万円 (2024年10月期)
決算期	10月
上場市場	東京証券取引所スタンダード

主要子会社	
商号	株式会社CAICAテクノロジーズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none">ITサービス事業システムインテグレーション事業DXソリューションサービス事業
設立	2019年10月7日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 鈴木 偉真
資本金	301百万円
商号	株式会社カイカフィナンシャルホールディングス
事業内容	<ul style="list-style-type: none">Zaif INO運営事業カスタマーディベロップメント事業
設立	2021年11月1日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸
資本金	50百万円



主力事業の拡大に注力

CAICA DIGITALは「デジタル金融の世界を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、暗号資産交換業のZaifや第一種金融商品取引業のEWJをはじめ、様々な形態の金融サービス業を行ってまいりました。

しかし、採算性の観点などから2023年10月期末に金融サービス事業の一部から撤退し、新たな体制で事業運営を行った結果、業績は大幅に改善しました。

本2025年10月期は、新事業「DXソリューションサービス」の飛躍を成長エンジンとして、基幹事業であるITサービス事業を拡大し、2026年10月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向けて役職員一同努めてまいります。

代表メッセージ

AI、ブロックチェーン、ゼロトラストセキュリティ、クラウドといった革新的な技術が次々と登場し、さらには、企業のビジネスモデルや人々の働き方を大きく変えるDXが今まさに進んでいます。

こうした中、当社のITサービス事業は、システムインテグレーションを通じて高い価値を提供することでお客様と共に成長を図ってまいりました。当該事業については、引き続き当社の主力事業として拡大を図るべく、サービスメニューの拡充をより一層進めてまいります。特に、「DXソリューションサービス」に注力したいと考えております。これは、HCL Softwareや Pegasystemsといった海外大手ベンダーのソリューションを当社がパートナーとしてクライアントへ提供することで、クライアントのDX推進を成功に導くものです。システムインテグレーション事業で培ったノウハウを存分に発揮し、ワンストップでクライアント

の課題解決に資することができるよう努めてまいります。

また、金融サービス事業においても新規事業の創出に注力し、来たるWeb3時代においてトップランナーとなることを目指します。

引続き、NFTローンチパッドの「Zaif INO」を中心として、「カイカコイン」を活用したサービスを拡大しています。両サービスの拡大に伴い、収益の最大化を図ってまいります。

以上の施策により、更なる飛躍を遂げる年度となるよう事業運営に努めてまいります。

CEO代表取締役社長 鈴木 伸



当社のセグメント

当社は、安定的な収益を生む「ITサービス事業」、拡大するマーケットの中で収益獲得を見込む「金融サービス事業」から構成されます。ITサービス事業においては上流工程の獲得や、価格改定により、より強固な収益体制を目指します。金融サービス事業においては2023年10月期末の再編に伴い慢性的な赤字体質を改善し、グループへの貢献を図ってまいります。

ITサービス事業

ITサービス事業

ブロックチェーン等の最先端技術や豊富な開発実績を活かした自社開発のITサービスを販売しております。企業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化を実現します。

システムインテグレーション事業

金融、ポイント・決済、公共・官公庁、EC・通販をはじめとした業界領域で培ったノウハウを基に、システムの企画検討から、設計・構築、運用・保守に至るまで、フロント、バックオフィスから基幹系システムを問わず最適なシステム提供をいたします。

DXソリューションサービス事業

AIを活用したDXソリューションの開発を手掛けるベンダーと提携し、DXソリューションプロダクトを提供します。

金融サービス事業

Zaif INO運営事業

審査制NFT販売所(一次販売)の運営を行います。Zaif INO が審査することで厳選された NFT を安心してご購入いただけます。さらに、クレジットカード決済対応可能で、暗号資産をお持ちでない方でも簡単にNFTを購入頂けます。暗号資産やウォレットが不要でNFTが所有できる「NFTカード」も販売中。

カスタマーディベロップメント事業

暗号資産や金融業界をはじめとした様々な業界に適応可能な顧客対応事業です。ご相談いただいた業務内容に合わせて、高水準のカスタマーサポートチームを提供するほか、カスタマーとの友好的な関係構築を支援いたします。

暗号資産発行・運用事業

自社発行暗号資産カイクコインを活用したサービス展開を行います。カイクコインのユーティリティ向上に伴う需要の増加により収益の最大化を図ります。

金融サービス事業の成長シナリオ

当社の金融サービス事業は一貫してWeb3領域における新規事業の開拓を行ってまいりました。審査制NFTローンチパッド「Zaif INO」の運営および、自社発行暗号資産「カйкаコイン」を活用したサービスの展開などを行っております。今後、Zaif INOを中心に事業を拡大するとともに、カйкаコインのユーティリティを向上させることで、Web3事業の成長を図ってまいります。



ZaifINO会員特典



Now Available



電子書籍読み放題

Now Preparing



協賛店で特典獲得



特別なイベントに招待



特別なNFTを配布

ITサービス事業の成長シナリオ

ITサービス事業は当社の売上の大部分を稼ぐ基幹事業です。従来までSES(System Engineering Service)や断片的な受託開発、保守運用の売上高比率が多くを占めておりました。一方、今期からは本格稼働となるDXソリューションサービスを軸とすることで、SIメニューをフルで提供し、高まるDX需要の獲得に努めます。

フルSIを提供スタート

従来

追加システム開発

導入サポート

保守運用

DXソリューション

コンサルティング

設計

プロダクト販売



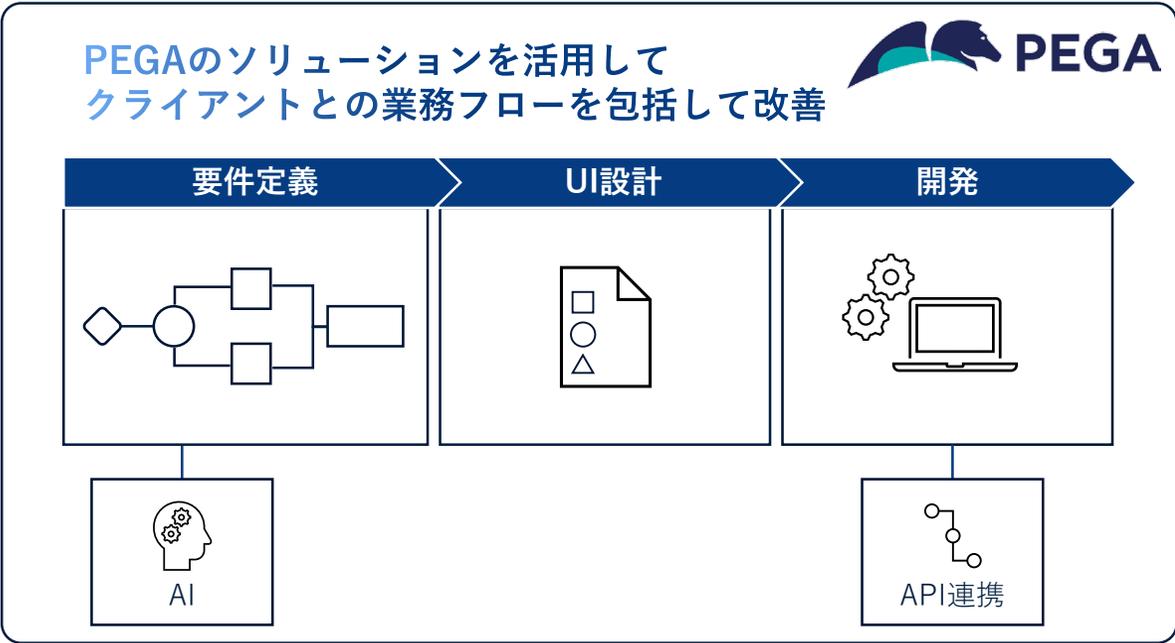
これまで手がけてきた分野とのシナジーにより
さらなる高付加価値な提案を可能に

HCLSoftware

上流フェーズで顧客課題を定義する
コンサルティング力が顧客課題を後押し

DXソリューションサービスの事業説明

2024年10月期末より始動したDXソリューションサービスは、収益の柱であるITサービス事業における成長ドライバーとして位置付けております。DXソリューションサービスを起点として、顧客の根本課題を把握することで従来以上の価値を顧客に提供できるものと考えております。



PEGA社、HCL社からの案件の紹介および、既存クライアントへのクロスセルにより、既に期初計画を上回るリードを獲得
今後、新規採用により人員を増員することで、今以上のペースで受注を拡大する計画

本資料は情報の提供を目的としており、将来の投資成果を保証するものでもありません。また本資料に掲載した内容は2025年10月期第3四半期現在のものであり、今後変更される恐れのあることをご承知ください。
本資料はCAICA DIGITAL(2315)が決算情報の提供を目的として作成しております。無断での転載はお控えください。

株式会社ネクスの子会社化について

当社は株式交換により2025年10月16日より株式会社ネクスを完全子会社化する方針を決定いたしました。ハードウェア開発に強みを持つ株式会社ネクスとソフトウェア開発に強みを持つ当社のシナジーを最大限に発揮することでDX市場における当社の優位性を高め、企業価値の向上を狙います。

本M&Aスキームの要点について

1 2025年10月9日の当社およびネクスの臨時株主総会にて決議

2 2025年10月16日より完全子会社化の予定

3 **株式交換により**※1、株式会社ネクスの株式を取得
「当社株式1株：ネクス株式571株」を割当交付により14,846,000株を交付。

1. 単元未満株については会社法に基づき買収清算の予定
2. 会計処理並びにのれんの金額等に関しては、現時点では未定であり、確定次第速やかに開示予定

株式会社ネクスの事業シナジーについて



- ブロックチェーンを活用したソリューション開
- AI技術を活用したサービス提供（業務効率化、データ分析等）
- セキュリティソリューション（サイバー攻撃対策、システム監視、認証基盤の構築等）

- IoT機器、通信インフラ機器の開発・販売
- エッジAI端末（NVIDIA製品組込み）の開発・販売
- LTE/5G通信端末やAIエッジコンピュータのODM供給

1. 製品・技術面のシナジー

ネクスのIoT/エッジAIハードウェアと、CAICA DIGITALのクラウド・ブロックチェーン・金融ソフトウェアを統合「端末+クラウド+セキュリティ」のフルスタック型ソリューションを提供

2. 営業基盤の補完

当社グループが持つ金融機関・法人顧客に対し、ネクスの製品群をクロスセル。ネクスが持つ通信キャリア・MVNOとの商流にCAICA テクノロジーズのソリューションを展開

3. コスト構造の最適化

ネクスのハード調達力とCAICA テクノロジーズのSI（システムインテグレーション）力を融合開発・調達・製造体制の効率化と間接費削減、人的リソースの最適配分

4. 中長期的な企業価値向上

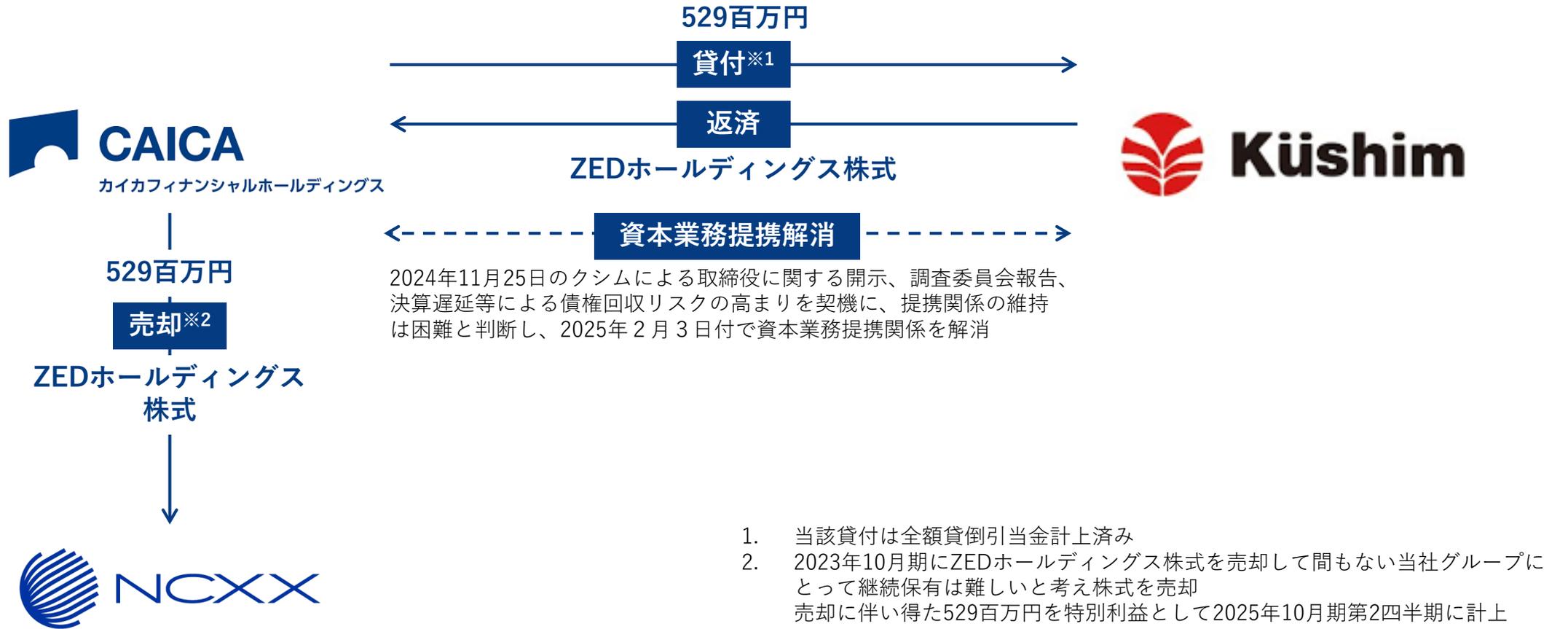
意思決定スピードの向上によりPMIを早期実現。DX・Web3・IoT分野での競争優位性を強化し、持続的な成長基盤を確立

▶ 別途、ネクス子会社化のシナジーについて開示しておりますのでご覧ください。

資料名「CAICA DIGITAL、ネクスと共にWeb3型IoT統合ソリューション構想に向けた戦略的PoCを開始 ～DID×MQTTによる次世代M2M/MECプラットフォームの構築に向けた実証がスタート～」

特別利益の計上と資本業務提携の解消に関して

当社の連結子会社であるカイカフィナンシャルホールディングスは株式会社クシムに対して2025年1月31日を期日として、529百万円を貸し付けておりました。一方、クシムからは返済期限の延期を求められておりましたが、当社は応じず、代物弁済として、暗号資産交換所Zaifの運営会社を傘下に擁するZEDホールディングスの株式を取得しました。取得したZEDホールディングスの株式を株式会社ネクスグループへ売却したことで2025年10月期第2四半期に529百万円の特別利益を計上いたしました。



1. 当該貸付は全額貸倒引当金計上済み
2. 2023年10月期にZEDホールディングス株式を売却して間もない当社グループにとって継続保有は難しいと考え株式を売却
売却に伴い得た529百万円を特別利益として2025年10月期第2四半期に計上

過年度修正⁽¹⁾について

当社は、株式会社クシム(2345)の公表⁽²⁾を受け、当社内にて検討を行った上でUHY東京監査法人と当社の過年度の連結財務諸表等への影響について協議を行いました。その結果、当社グループが保有する暗号資産の一部について、当該暗号資産の保有量と市場での流通量のバランスを鑑み、2024年10月期第2四半期で評価の切下げを行っておりましたところ、2023年10月期末で評価の切り下げをすることがより適切であるとの判断したため、過年度の有価証券報告書等を訂正するものです。

項目	23/4Q 累計		24/1Q		24/2Q 累計		24/3Q 累計		24/4Q 累計	
	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
売上高	5,408	5,133	1,354	1,448	2,866	2,866	4,225	4,225	5,606	5,606
営業利益	▲2,378	▲2,653	▲77	16	▲196	78	▲175	99	▲159	115
経常利益	▲2,560	▲2,963	▲121	19	▲320	82	▲301	101	▲263	138
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3,889	▲4,280	▲228	▲89	▲425	▲35	▲402	▲11	▲359	30
総資産	2,971	2,569	2,726	2,464	2,714	2,714	2,571	2,571	2,425	2,425
純資産	2,198	1,795	2,059	1,797	1,776	1,776	1,737	1,737	1,659	1,659

1. 本頁以降に記載された業績数値はすべて過年度修正後の数値をもとに記載及び算出されていることをご理解ください。
2. 当社と同様に活発な市場が存在しない暗号資産を保有しており、会計監査人も同じUHY東京監査法人でありました、株式会社クシム（証券コード：2345）（以下「クシム」といいます）において、2025年4月4日および2025年4月23日付で保有暗号資産の評価に関する調査報告書が公表され、2025年4月28日付で過年度の訂正報告書等が公表されました。これは、クシムが保有する暗号資産等の一部において、2024年10月期第2四半期における会計処理の一部について、過年度での評価の切り下げ処理とする訂正をおこなったものであります。

01	概要	05
02	2025年10月期 第3四半期決算	15
03	2025年10月期 通期業績見通し	27
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	42
06	Appendix	57

通期業績見通し※1の修正について

ITサービス事業において、新規事業DXソリューションサービスが期初計画通り順調に推移する一方、システムインテグレーションにおける新規案件の獲得が期初予定を下回ったことにより、売上高が未達となる見通しとなったため、連結業績予想を修正いたします。

	25/3Q 累計実績	修正前 業績予想	修正後 業績予想	増減額	増減率
売上高	3,840	6,220	5,409	▲811	▲13.0%
売上総利益	637	-	-	-	-
売上総利益率	16.6%	-	-	-	-
営業利益	66	215	132	▲83	+38.6%
営業利益率	1.7%	3.5%	2.4%	-	-
経常利益	74	215	141	▲74	▲34.4%
親会社株主に 帰属する純利益	588	725	906	+181	+25.0%

1. 以降のページにおける、通期業績見通しの記載は全て修正後の数値とします。

2025年10月期第3四半期 累計業績ハイライト

売上高

前年同期比9.1%減

3,840百万円



営業利益

前年同期比33.8%減

66百万円



純利益

特別利益計上

588百万円



連結業績

- ITサービス事業の苦戦により、売上高・営業利益は期初予想に達しない見通しとなり下方修正。
- 純利益は第2四半期に有価証券売却益として特別利益529百万円計上。また第4四半期に投資有価証券売却益285百万円計上見込み。

ITサービス事業

- 従来事業において、期初に見込んだ新規案件の獲得が想定を下回り、期初予算未達の見込み。
- 新規事業DXソリューションサービスは期初の見通し通り順調に進捗しており、当第3四半期においても収益に寄与。

金融サービス事業

- 先行投資フェーズとして、セグメント収支はマイナス。
- NFT漫画プロジェクトにおいて、複数の作品の出版に貢献。
- 暗号資産の投資・運用がわずかに売上高に寄与。

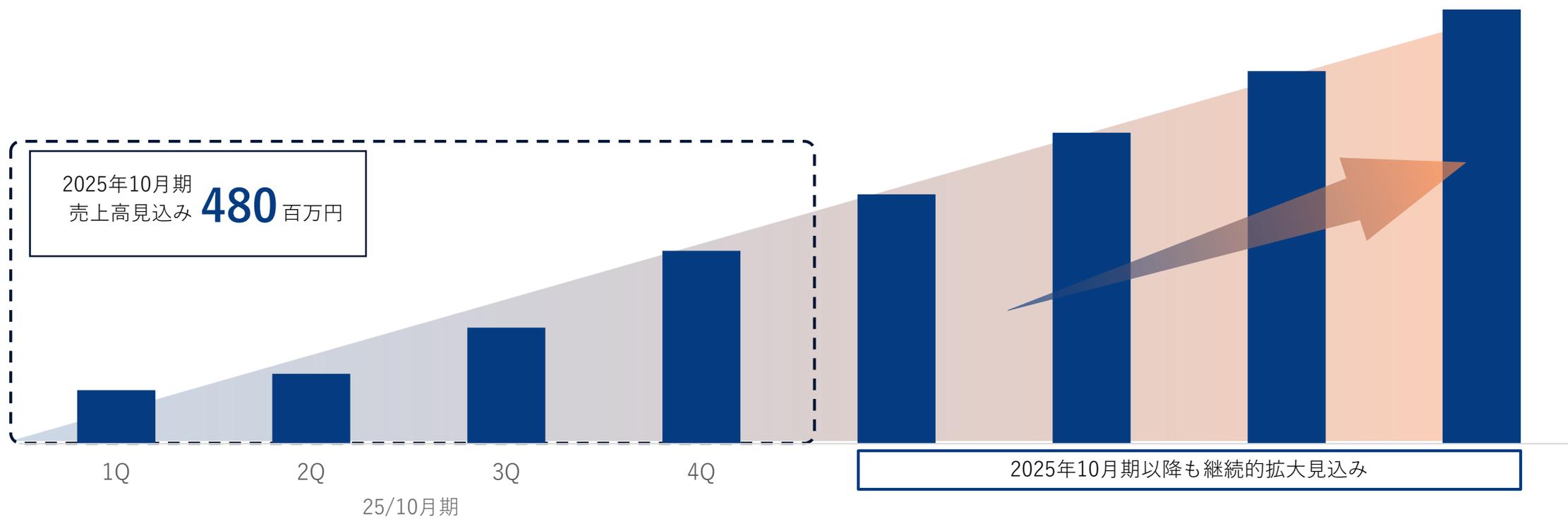
2025年10月期第3四半期 累計連結業績サマリー

当第3四半期はITサービス事業の従来事業において、期初に見込んだ新規案件の獲得が想定を下回ったことを主因として、売上高、営業利益、経常利益は前期比で減少しました。一方、第2四半期に特別利益を計上したことを要因として、四半期純利益は大きく増加しました。

	24/3Q 累計実績	25/3Q 累計実績	前期比	通期見通し	進捗率	
売上高	4,225	3,840	▲385	▲9.1%	5,409	71.0%
売上総利益	698	637	▲61	▲8.7%	-	-
売上総利益率	16.5%	16.6%	-	-	-	-
営業利益	99	66	▲33	▲33.8%	132	50.0%
営業利益率	2.4%	1.7%	-	-	-	-
経常利益	101	74	▲27	▲26.7%	141	52.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	-11	588	+600	-	906	65.0%

DXソリューションサービスの売上高の見通し

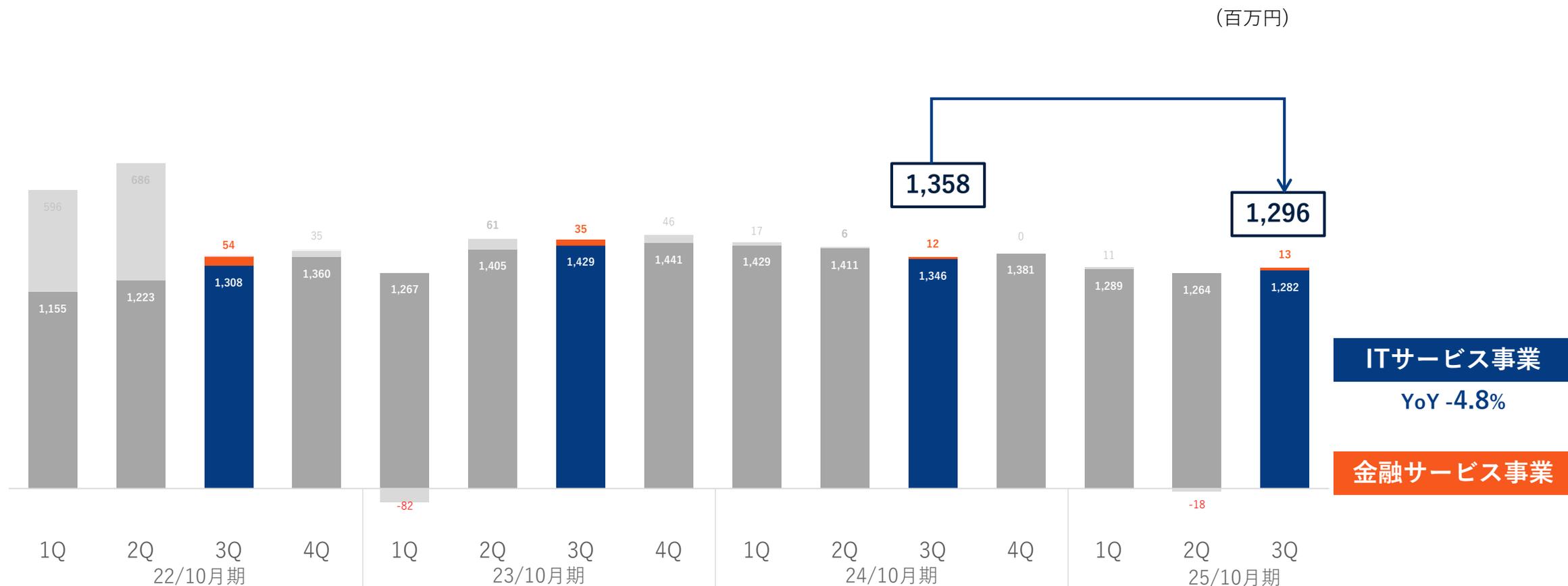
ITサービス事業の成長ドライバーである新規事業のDXソリューションサービスは、第3四半期時点では概ね期初の想定通りの進捗となりました。クライアントからは製品カスタマイズの要望を多く受け、特にテクニカルサポート案件の受注数が伸長しました。第4四半期においても順調に拡大する見込みであり、期初の売上高見込み480百万円については概ね実現可能と考えております。



四半期毎の連結売上高推移※1

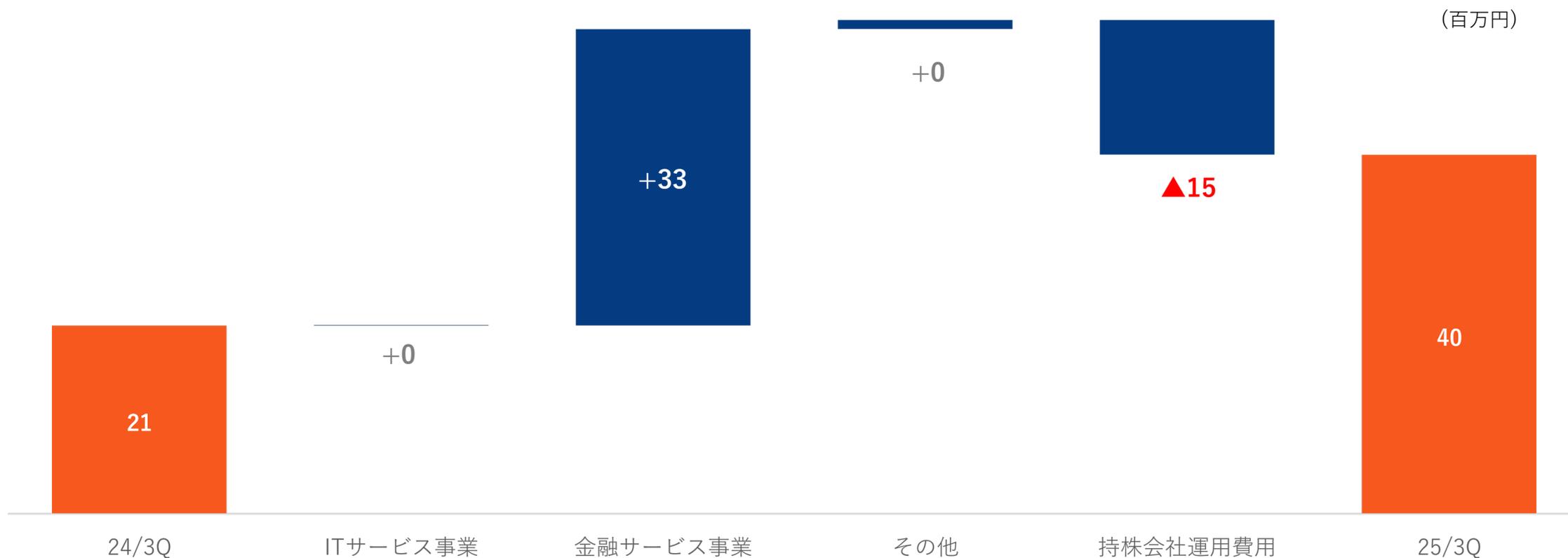
ITサービス事業は新規事業のDXソリューションサービスが順調に推移した一方、従来事業において新規案件獲得に苦戦した結果、前年同期比4.8%減となりました。一方、金融サービス事業は暗号資産の投資・運用と新規事業が寄与した結果、前年同期比ではわずかに増加しました。

1. 内部取引控除後の数字を記載



四半期営業利益の増減要因について

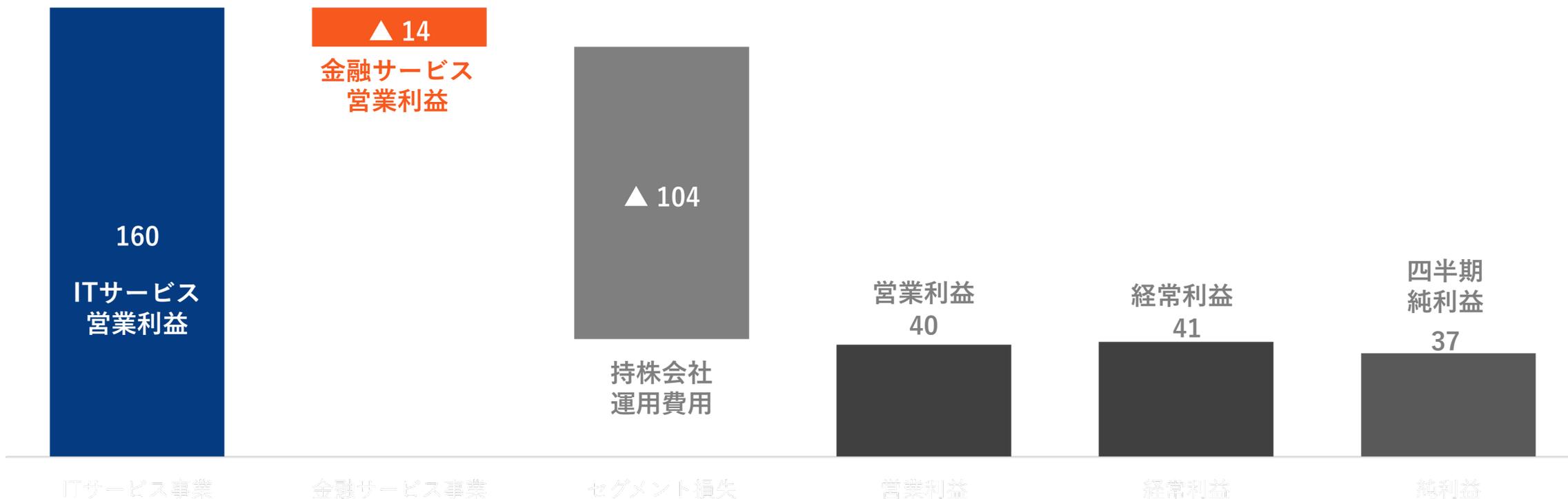
第3四半期会計期間においては、ITサービス事業は概ね前年同期と同水準となりました。一方、金融サービス事業はコスト改善や暗号資産の運用益により、前年同期と比較して、増益に寄与する形となりました。結果として四半期会計期間における連結営業利益は前年同期比89.3%増となりました。



四半期間における各利益の要因について

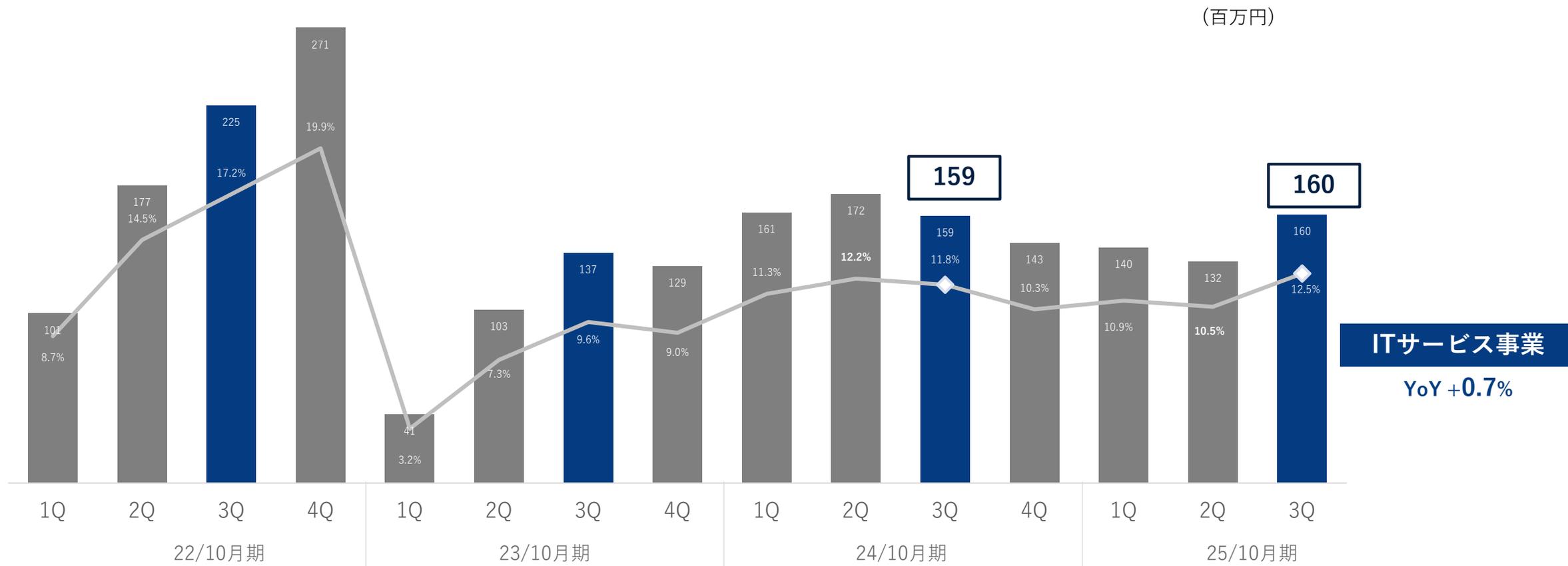
ITサービス事業が牽引する形で各利益ともプラスの着地となりました。

(百万円)



四半期毎のITサービス事業の営業利益率推移

ITサービス事業の四半期会計期間におけるセグメント利益は前年同期と概ね同水準であった一方、従来事業と比較して利益率の高いDXソリューションサービスの拡大やコスト管理を入念に行ったことを要因として、利益率は向上しました。



貸借対照表の推移について

当第3四半期の総資産は短期貸付金および投資有価証券の増加により前期末比31.7%増の3,194百万円となりました。負債は短期借入金の減少などにより同31.0%減の528百万円となりました。純資産は利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加により同60.7%増の2,666百万円となり、自己資本比率は前期末68.4%から83.5%へと大幅に向上しました。

(百万円)	24/4Q	25/3Q		24/4Q	25/3Q
資産の部	2,425	3,194	負債の部	765	528
内 現預金	698	678			
			純資産の部	1,659	2,666
			内 株主資本	1,807	2,396

01	概要	05
02	2025年10月期 第3四半期決算	15
03	2025年10月期 通期業績見通し	27
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	42
06	Appendix	57

2025年10月期 通期業績見通しハイライト

売上高

連結売上高**5,409**百万円

前期実績 5,606百万円

営業利益

連結営業利益**132**百万円

前期実績 115百万円

経常利益

連結経常利益**141**百万円

前期実績 138百万円

純利益

連結純利益**906**百万円

前期実績 30百万円

2025年10月期 通期業績見通しサマリー

第2四半期に特別利益の計上に伴い当期純利益を修正しました。また当第3四半期にはITサービス事業の不調を主因として売上高、各利益の通期業績見通しの修正を行いました。結果、売上高は前期比で3.5%減となる見通しの一方、各利益は前期比で増益となる見通しです。

	24/10月期 実績	25/10月期 業績見通し	前期比	
売上高	5,606	5,409	▲197	▲3.5%
営業利益	115	132	+16	+15.1%
営業利益率	2.1%	2.4%	-	-
経常利益	138	141	+2	+1.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	30	906	+875	-

2025年10月期 業績見通し

連結業績

25/10期の見通し

- 堅調なITサービス事業を軸に**黒字化を見込む**
- 暗号資産市場やユースケースの拡大に伴い、Web3.0 For Bizをはじめとしたソリューション事業の伸長を図る
- 特別利益の529百万円の計上により当期純利益が大きく上振れする可能性を見込む

2025年9月12日付

- ITサービス事業を軸に**黒字化を見込む**
一方、新規案件の獲得に苦戦し、売上高・営業利益は期初見通しから下方修正。
- 特別利益を第2四半期に529百万円計上、第4四半期に285百万円計上予定により純利益を上方修正。

ITサービス事業

- 売上高は前期比11%増を見込む
- 既存事業において約1.2億円の増収を図る
- 高単価案件の選別を継続し、更なる利益率の向上に努める
- 新規事業DXソリューションサービスの立ちあがりに伴い4.8億円の売上高創出を図る

- 従来事業の減収に伴い、セグメントの売上高は前期比で減収の見込み
- 高単価案件の選別およびDXソリューションサービスの伸長により、利益率の向上に努める
- 新規事業DXソリューションサービスは順調に推移し、期初予想を概ね達成の見込み。

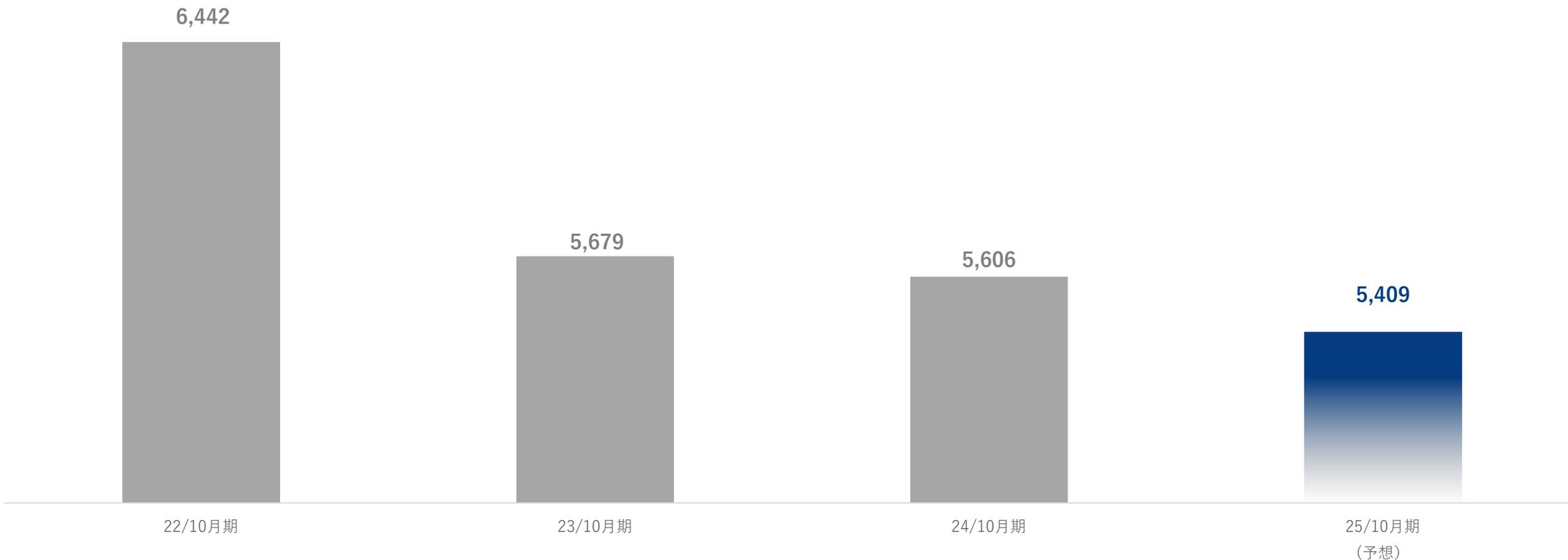
金融サービス事業

- 保有する「活発な市場が存在しない」暗号資産の大半について、2023年10月期末に備忘価格まで評価切り下げ済み。
- 上記の暗号資産を今後売却した際は、売却価額の大部分が利益として計上される見通し。
- Zaif INOの取扱高拡大を図る

- 保有する「活発な市場が存在しない」暗号資産の大半について、2023年10月期末に備忘価格まで評価切り下げ済み。
- 漫画NFTプロジェクトの推進などにより、Zaif INOの取扱高拡大を図る

通期売上高※1の推移と要因

事業再編に伴う子会社の売却などの影響により直近数年は売上高は横ばいの傾向にあります。今後、ITサービス事業において、高単価案件の選別を行い利益率の向上を図るとともに、M&AやDXソリューションサービスの伸長、金融サービス事業の収益化の実現に伴い、売上高の拡大を図ります。



1. 23/10月期以降の数字を遡及処理

通期営業利益の推移と要因

直近数年は金融サービス事業への先行投資を主因として大きく赤字を計上しておりました。また前期は保有する暗号資産の評価を切り下げた影響により営業利益は赤字着地となりました。一方、今期は通期業績見通しの修正を行ったものの、ITサービス事業が着実に牽引する形で黒字着地を見込んでおります。

22/10月期

23/10月期

24/10月期

25/10月期
(予想)

115

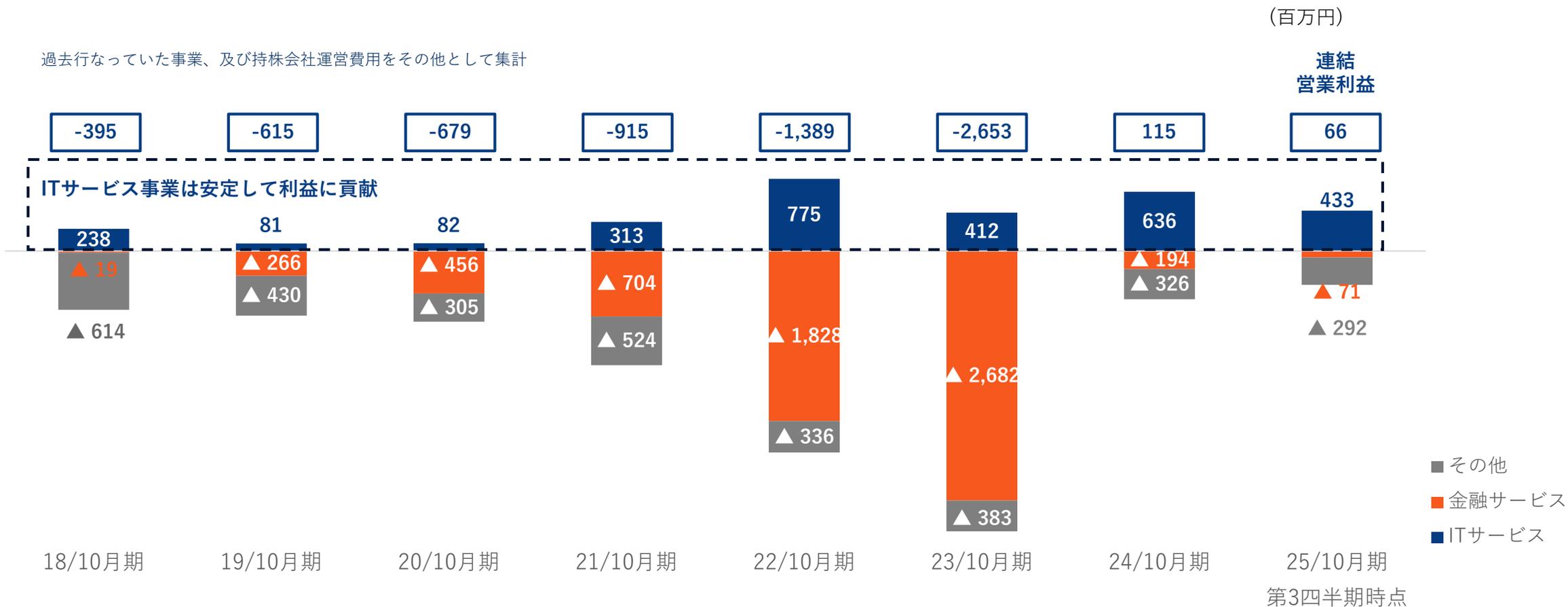
132

▲ 1,389

▲ 2,653

セグメントごとの通期損益の推移と要因

2023年10月期までに事業再編を行い、収支を大きく改善しました。また2023年10月期および、2024年10月期については、2025年6月9日付で過年度訂正を行いました。



01	概要	05
02	2025年10月期 第3四半期決算	15
03	2025年10月期 通期業績見通し	27
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	42
06	Appendix	57

2023年10月16日に公表しました2026年10月期を最終年度とした中期経営計画の2026年10月期の計画値につきましては、株式会社ネクス子会社化の影響等を精査後に改めて策定し、開示いたします。

【参考】
2026年10月期
連結売上高**7,813**百万円

CAGR15.3%
FY2023年実績比+52.2%

【参考】
2026年10月期
連結営業利益**467**百万円

営業利益率6.0%

【参考】
2026年10月期
ITサービス事業人員**725**人※1

一人当たりの売上+8.5%
FY2023年比+8.5%

【参考】
販売管理費約**2,200**百万円減

2023年10月期比

1. パートナー人員数を含みます。

中期経営計画サマリー

CAICA DIGITALは2023年10月期に事業再編を行い、長期的な成長を見据えて収益体制を再構築してまいります。その一環として3ヵ年業績計画を中期経営計画として開示致します。

「デジタル金融の世界を切り拓く」のスローガンのもと、複数の金融子会社をM&Aにより取得するが、暗号資産市場の低迷や関連規制の強化など、様々な要因により当初想定した利益が得られず

2018年10月期~2023年10月期



安定的に利益を計上していたITサービス事業の伸長を図るとともに金融サービス事業における収支の状況を抜本的に見直し、事業の集中と選択を図る

2023年10月期



ITサービス事業の伸長を図りつつ、金融サービス事業の運営経験を活かしたWeb3事業を展開

2023年10月期~2026年10月期

新しいCAICA DIGITALの体制図

CAICA DIGITALは安定したキャッシュ・フローを産むITサービス事業を基盤として、「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションのもと、更なるWeb3事業の拡大を図ります。またWeb3コンサル事業「CAICA Web3 for Biz」より、上流工程のSI案件を獲得することにより、ITサービス事業の収益性向上を図ります。

金融サービス事業



自社サービスの知見を活かしたコンサルティング事業

CAICA Web3 For Biz

ITサービス事業

安定したキャッシュ・フローを産むSI事業

CAICA テクノロジーズ

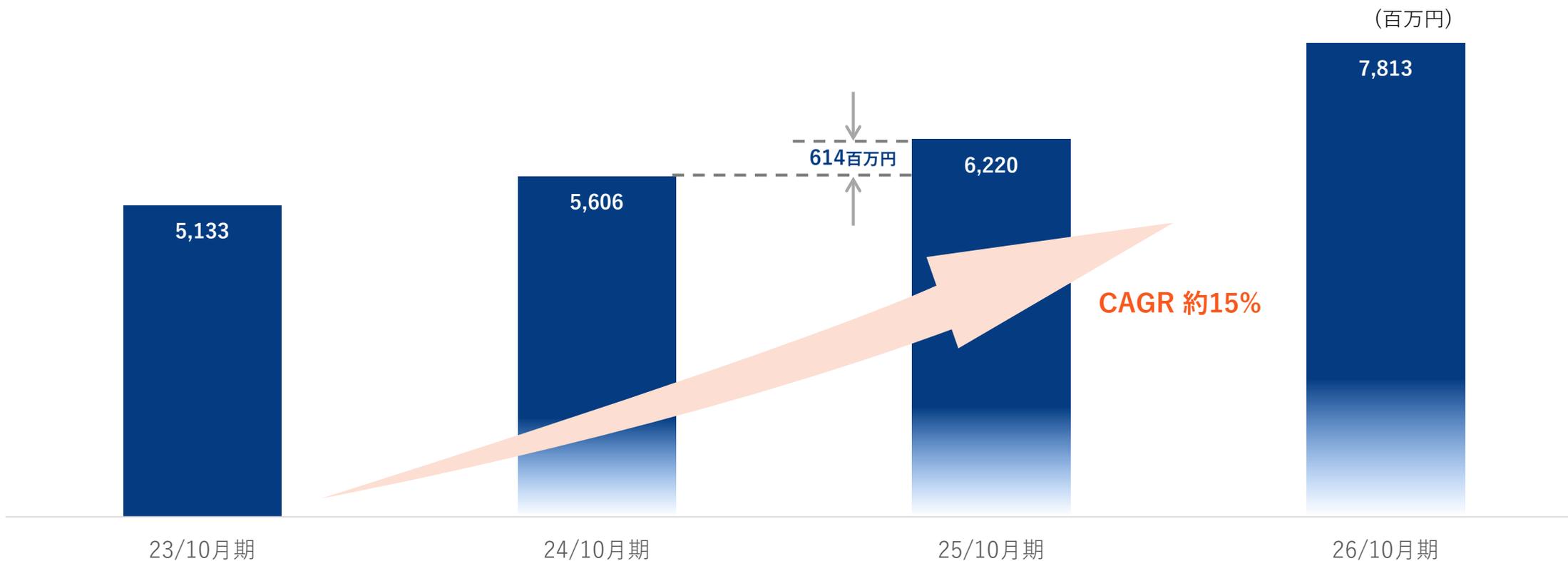
上流工程を獲得し収益拡大のために
スクラム体制を構築

CAICA Web3 For Bizで生じたニーズをSI事業で網羅

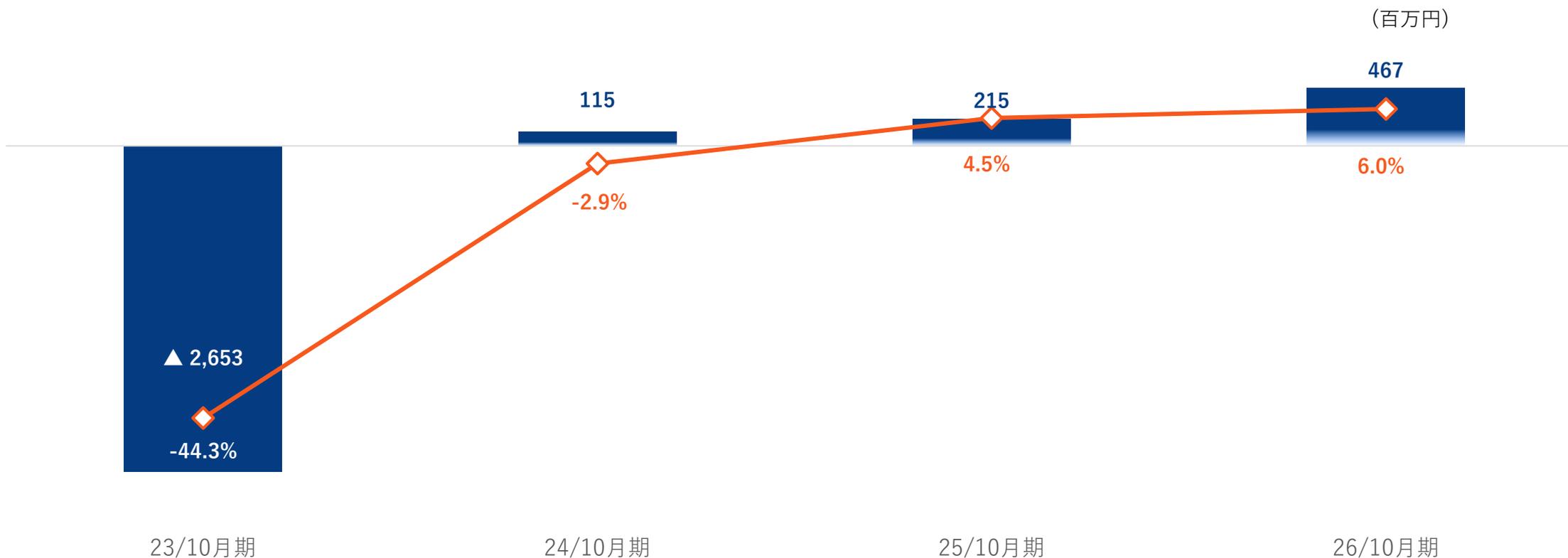
M&A活用による更なる事業拡大

連結売上高見通し⁽¹⁾

ITサービス事業、及び新規事業の伸長により2023年10月期～2026年10月期の間に年平均約15%の成長を目指します。

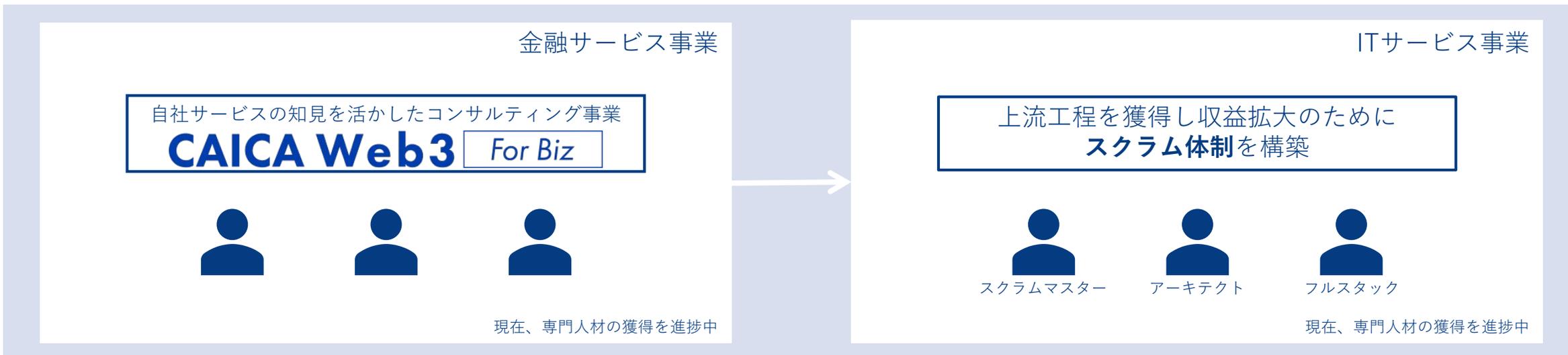


連結営業利益及び営業利益率の見通し



IT×Web3により高単価案件を獲得

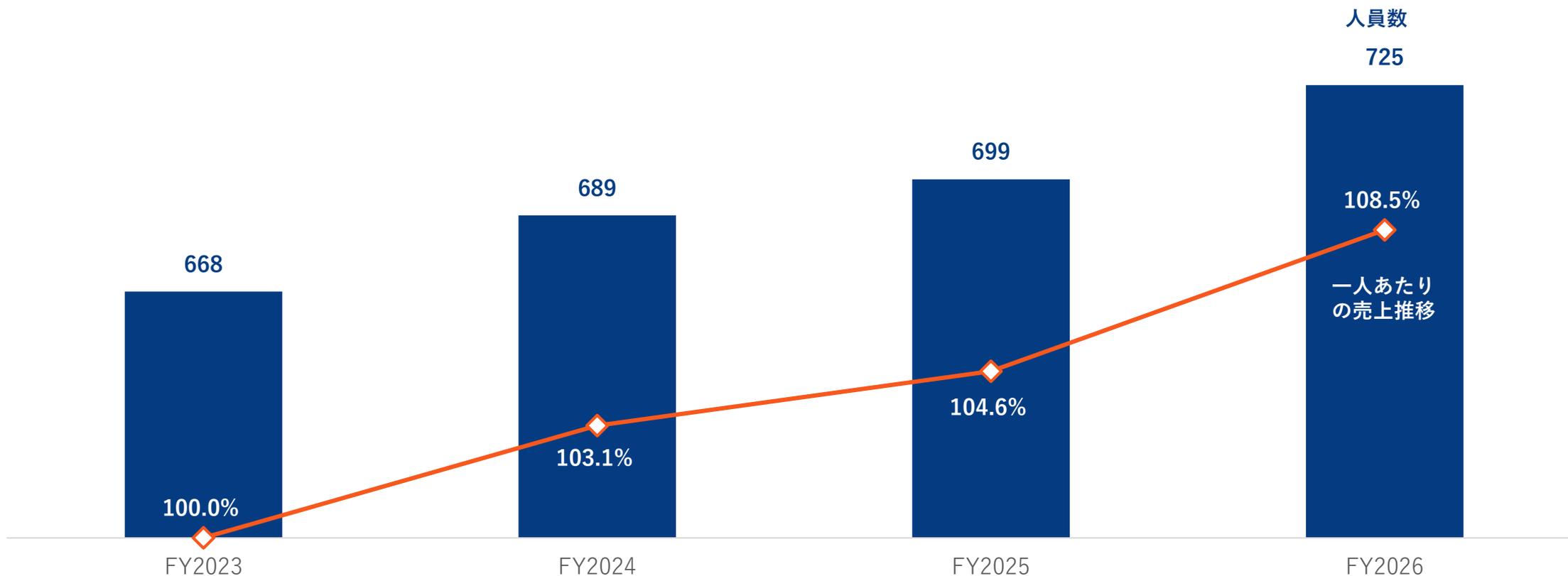
金融サービス事業で培った知見を活かし、ITサービス事業においてもWeb3領域の高単価案件の獲得を目指し利益率の改善を図り、最終年度の2026年10月期には営業利益率を6.0%まで向上させる見込みです。そのための手段として、2024年10月期よりコンサル人材、及びハイスペックなエンジニアの採用を進め、専門チームを組成します。



高単価案件を獲得し、将来的に**連結営業利益率6.0%**を目指す

ITサービス事業の人員※1及び人員あたりの売上計画

ITサービス事業では人員の純増と併せて、一人当たりの売上増加を図りセグメント売上の伸長を図ってまいります。2026年10月期までに人員は57人純増の予定であり、一人当たりの売上は8.5%増加する想定です。



1. パートナー人員数を含みます。

01	概要	05
02	2025年10月期 第3四半期決算	15
03	2025年10月期 通期業績見通し	27
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	42
06	Appendix	57

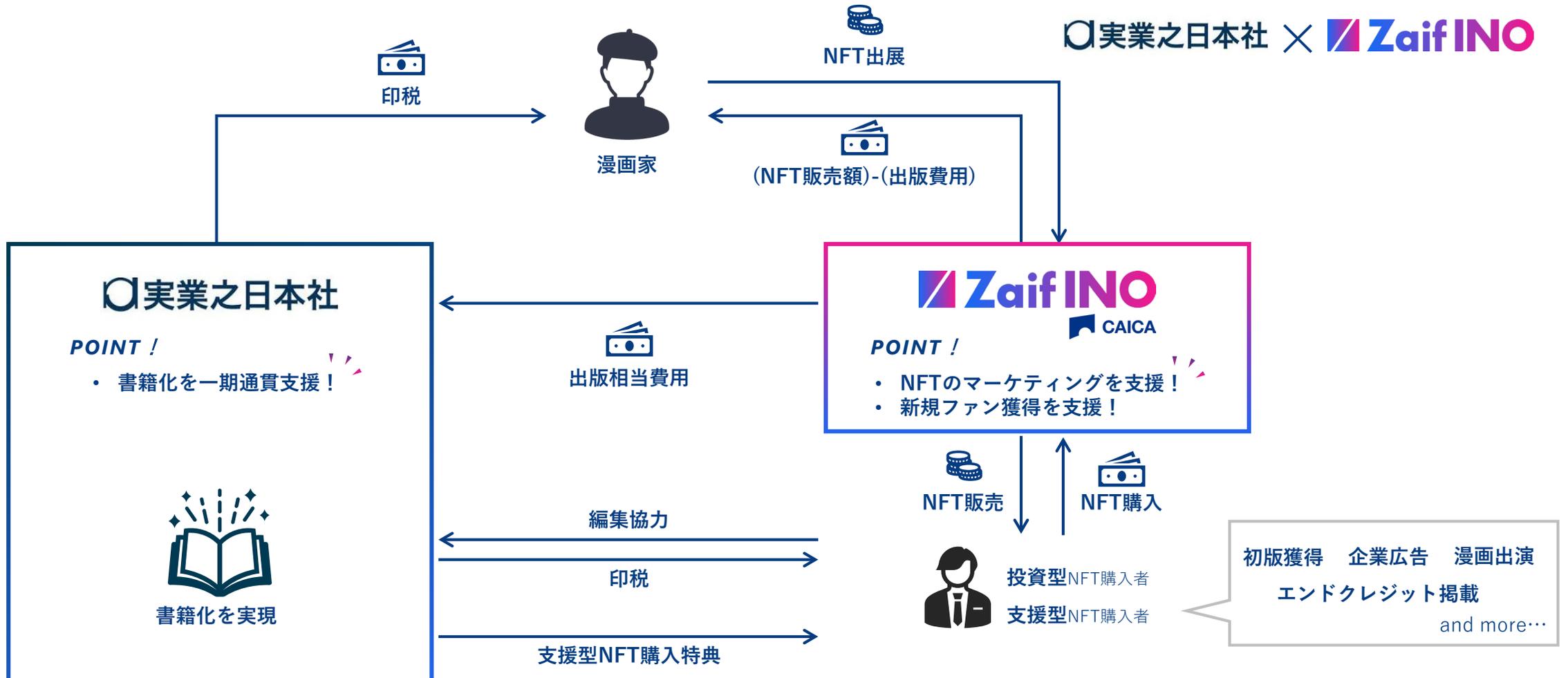
Zaif INO関連



NFTカードを活用した「NFT漫画プロジェクト」始動！

Zaif INOと実業之日本社が協業し、NFTを通じて漫画家さんの出版活動を応援する「NFT漫画プロジェクト」を開始しました。支援型漫画NFTと投資型漫画NFTの2種類のNFTを販売し、NFT出版、電子出版、紙書籍出版の3つのスタイルで出版を目指します。Zaif INOから、暗号資産不要・ウォレット不要でNFTが所有できる「NFTカード」形式で販売します。

実業之日本社 × Zaif INO



NFT漫画プロジェクト作品一覧

金融サービス事業の新サービスNFT漫画プロジェクトにおいて、続々と新しい作品のリリースが決定しております。今後も継続して新しい作品の誘致を進め、Zaif INOの認知向上を図るとともに、取扱高の向上に努めます。

漫画家 仙洞田寛
初出版応援 プロジェクト

らいみるちゃん

Success!

電子漫画出版決定!

NFT漫画
第2弾

新人漫画家 Shino
作品名『Signals(仮)』

Success!

NFT漫画出版決定!

井上いちろう先生 参加
NFT漫画
プロジェクト
第3弾

参加募集中!

井上いちろう先生 参戦! /

注目作品 話題沸騰 公開中

プロジェクトページへ →

第4弾

『柁』
タイトル
新人漫画家 小森しゃお

販売期間 2025/08/15 15:00
~ 2025/11/14 23:59

プロジェクトページへ →

NFT漫画
プロジェクト
第5弾

ひとりとらびき
PRESENTED BY
大原ななこ
A GIRL and A CAT...

販売期間 2025/08/27 15:00
~ 2025/11/26 23:59

プロジェクトページへ →

「ジンバブエと漫画でつながる国際文化交流プロジェクト」始動

本プロジェクトにおいて、2025年8月15日～9月30日に現地漫画家の募集を開始しました。また2025年8月24日にジンバブエで開催されたアニメ、漫画、ゲーム、コスプレなど、日本のポップカルチャーを紹介するジンバブエの本格的なアニメコンベンション「OTAKUKON (オタクコン)」において、在ジンバブエ日本国大使館及び現地関係者の協力を得て広く公募活動を実施しました。



ZaifINOライブラリ「電子書籍読み放題」サービス開始

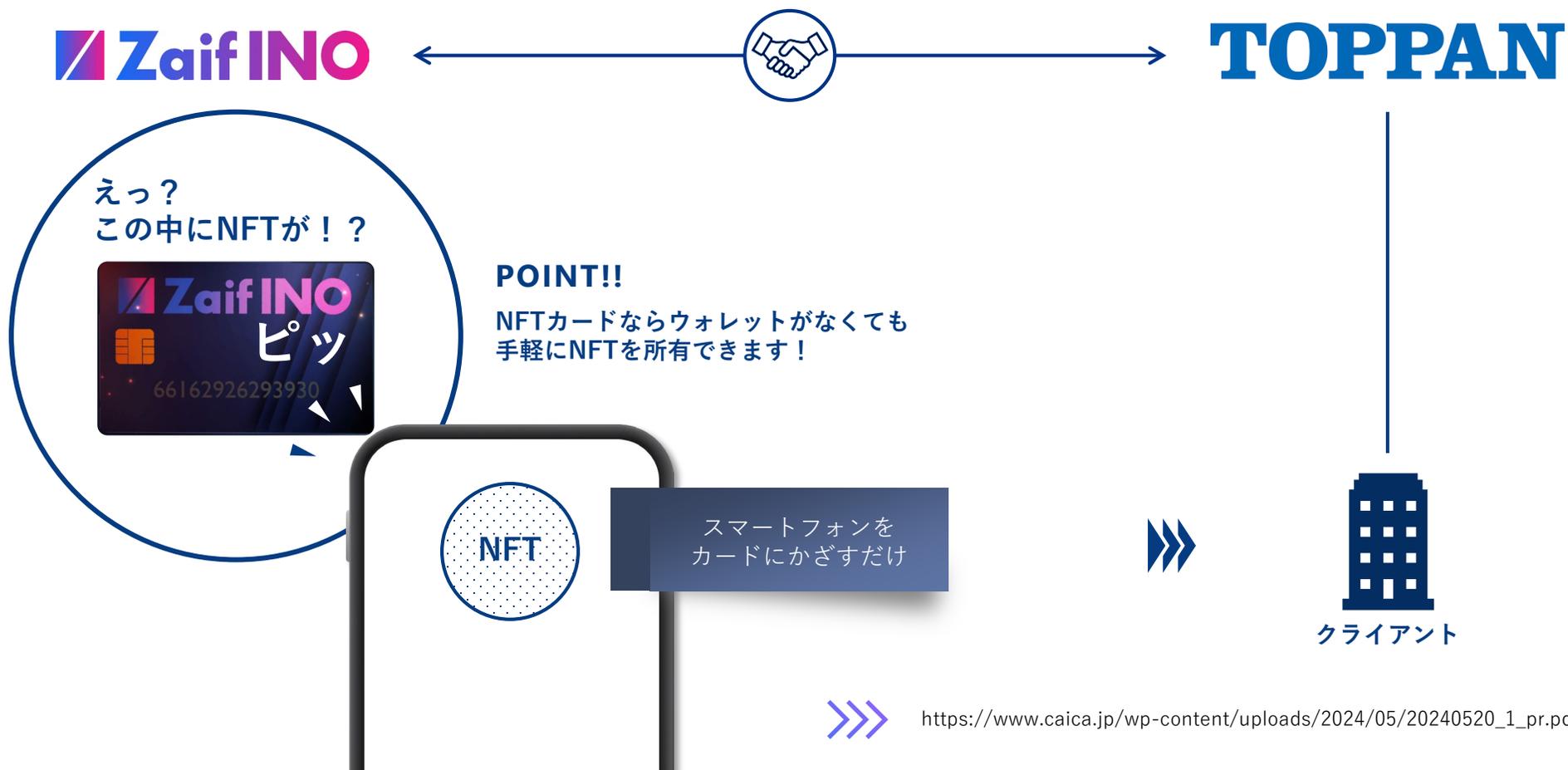
ZaifINOメンバーズカードをスマホにかざすだけで、実業之日本社が提供する電子書籍が購読可能となります。今後メンバーズ限定のサービスを拡充させてまいります。



初回購読可能な書籍は、月刊誌「ワッグル」（ゴルフレッスン専門誌）、月刊誌「ライダーズクラブ」（スポーツバイクライディング専門誌）の2誌です！

Web3領域におけるNFT活用連携、サービス/プロダクト共同開発推進の進捗状況

プレスリリース「CAICA DIGITALとTOPPAN、Web3 領域におけるNFT活用で連携」の通り当社グループの運営するZaif INOはTOPPANと代理店契約を締結しております。その後、TOPPANのクライアントに対してNFCタグ機能を活用したNFT配布サービスを提供致しました。NFC タグ機能の活用により、Web3ウォレットを所有していないユーザーに対してNFT付与が可能となります。



カイカコインで購入可能なNFT第1弾「Zaif INOデジタルプレミアムチケット」販売

カイカコイン山分け企画の参加権、今後販売を予定しているオリジナルNFTプレセールAL確定枠権、オリジナルNFT先行情報取得権、ホルダー限定コミュニティ参加権等、様々な権利を内包するZaif INOオリジナルNFT、Zaif INOデジタルプレミアムチケットの販売を決定しました。



The advertisement features a dark blue background with a glowing purple and pink 'Zaif INO' logo and a stylized ticket graphic. The ticket has a gold chip and the number '66162926293930'. A white box on the left contains the following information:

**デジタルプレミアムチケット
第三弾!!**

- 👑 コイン山分け企画参加権
- 👑 オリジナルNFT AL確定枠
- 👑 NFT山分け企画参加権

発行枚数 200枚
**販売価格 100 MATIC
2,000 CICC**

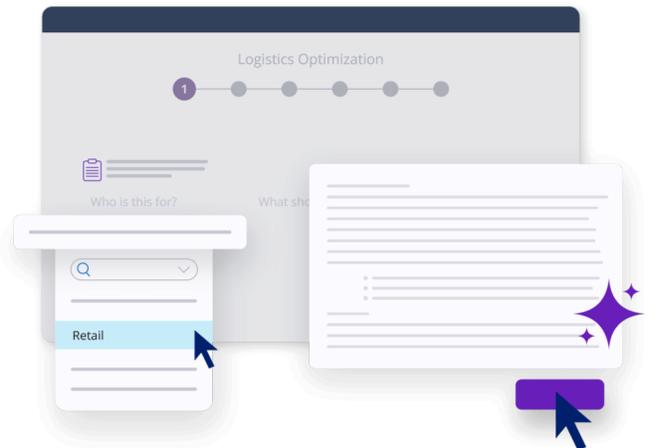
※内容は予告なく変わる可能性があります。



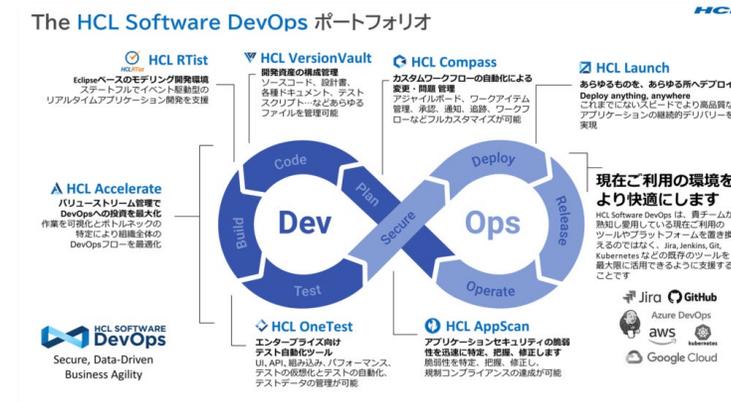
DXソリューションサービス関連

HCL Softwareのパートナーに認定、Pegasystemsとパートナーシップ契約締結

ITサービス事業においてクライアントのDX加速を目的として、HCLSoftware社のパートナーに認定されました。またPegasystemsとパートナーシップ契約を締結しました。これにより当社グループは、コンサルティングからソリューション導入、運用保守までをワンストップで提供することが可能となりました。



<https://www.pega.com/ja>



<https://www.hcljapan.co.jp/software/>



https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/04/20240423_1_pr.pdf

https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/01/20240104_1_oshirase.pdf

DX対応の加速：HCL Technologies社と基本再販業者プログラム契約を締結

当社は予めよりHCL Technologies社とパートナー契約を締結しておりましたが、2024年8月、同契約が基本再販業者プログラムへと昇格しました。これによりディストリビューターを経由せずにHCL Technologies社のDXソリューション製品を販売可能となりました。コンサルティングから製品導入、保守運用まで、DXニーズへの対応を加速する体制が整い、事業拡大を進めてまいります。



DXソリューションサービスにおける販売体制強化及び、新サービス提供開始

HCLSoftware製品の販売強化に向けた取り組みとして、営業人員の拡充および技術要員の育成を推進するとともに、各製品に関する情報を発信するランディングページを新たに公開いたしました。またHCLSoftware製品の利活用スキルの向上を目的として、新たに研修サービスの提供を開始しました。

CAICA テクノロジーズ × HCLSoftware

HCL Domino HCL Volt MX HCL BigFix HCL AppScan HCL Unica

お問い合わせ

Notes 資産を “未来資産” に。

株式会社CAICAテクノロジーはHCLSoftwareの公式パートナーです。
日本企業におけるNotes資産の活用とDX推進を支援し、導入のサポートを行っています。

お問い合わせ

特設ページはこちら [🔗 https://www.caica-technologies.co.jp/portals/domino/](https://www.caica-technologies.co.jp/portals/domino/)

その他のトピックス

代表取締役社長 鈴木 伸がブロックチェーン推進協会（BCCC）の理事に重任

ブロックチェーンの国内筆頭団体の内の一つ、ブロックチェーン推進協会（BCCC）の理事に代表取締役鈴木伸が重任しました。今後もBCCを通して、ブロックチェーンの普及に資するとともに、ブロックチェーンのリーディングカンパニーとして新たな事業開発に努めてまいります。



CAICA DIGITAL 公式Xアカウント開設のお知らせ

この度、株主・投資家の皆様に向けてより広く情報をお届けすることを目的として、CAICA DIGITAL 公式Xアカウントを開設し、2025年3月7日より運用を開始いたしました。

CAICA DIGITAL 公式X

アカウント名	CAICA DIGITAL
ユーザー名	@caicad_inc
URL	https://x.com/caicad_inc

カイカコイン 公式X

アカウント名	カイカコイン
ユーザー名	@CAICA_COIN
URL	https://x.com/CAICA_COIN

ZaifINO 公式X

アカウント名	Zaif INO NFT販売所
ユーザー名	@zaif_ino
URL	https://x.com/zaif_ino



01	概要	05
02	2025年10月期 第3四半期決算	15
03	2025年10月期 通期業績見通し	27
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	42
06	Appendix	57



カイカコインとは

株式会社CAICA DIGITAL(証券コード：2315)が発行するイーサリアムネットワーク上で運用されるERC20規格に準拠した暗号資産です。2023年にはPolygon対応を完了し、マルチチェーン対応のコインへと進化しています。また2025年3月現在、国内暗号資産交換所Zaif及び、海外取引所FinexBoxに上場しています。

カイカコインは上場企業CAICA DIGITALが発行し、8年に及ぶ運用実績を持つアルトコインです。

CAICA DIGITALの責任のもと活用シーンの増加に資することでさらなるカイカコインの価値向上に努めてまいります。

カイカコイン発行状況

発行可能枚数	300百万CICC
上場取引市場	Zaif(国内) FinexBox(海外)
時価総額 ^{※1}	1,080百万円
取引価格 ^{※1}	3.6JPY/CICC

1. 2025年9月9日現在の時価、及び現時価を参考に算出

バリューアップの三つの視点

01

市場環境好転

BTC価格の上昇、金利のピークアウトなどカイカコインにとって好材料となる市場環境が整いつつあると考えます。

02

実績と信頼

数多に存在するアルトコインの中で、カイカコインは約8年間に渡り上場企業の当社が運用してきた実績を誇ります。

03

用途拡大に伴う需要の増加

カイカコインはGameFiにおけるゲームコインとしての活用を目指しております。ゲームコインとしての利便性が拡がり、需要が増すことで価格の上昇が見込めると考えます。

本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の決算情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
- 本資料は一部(百万円)または(千円)以下を切捨てて掲載しております。一方、前期比等については切捨て前の数字を参照し計算しております。